

## 動作確認チェックシート

検査日	2016年 4月25～28日	(機械の仕様・規格を記入する。)		
商品名	蛍光X線膜厚計	電源電圧	3相 100～110V 5KVA	
型式	SFT9500	電源周波数	50/60 Hz	パソコン本体
メーカー名	SII	構成	測定ヘッド部	ディスプレイ
機械Ser.No	1.04007E+13		電源ボックス部	入力キーボード
製造年月	2007年 5月		X-Yジョイスティック	

チェック項目	主な確認内容	チェック(○×)
1 外観	筐体・キャスター・継手・スイッチ等に著しいキズ・破損・動作不良はないか。	○
2 起動動作	POWER ON時に異常(異音・異臭・漏電・暴走・アラーム表示等)はないか。	○
3 SW設定	SWの機能は正常か。	○
4 保管・出荷準備	水抜き・ビス締め・清掃・在庫元に関するシール等を取り除く。	未
5 確認シール	動作確認済シールを貼る	○

備考(動作確認内容・不具合内容等) 機器の仕様・規格を満たす事を確認する。

## 1 測定ヘッド部

◎ SW類 ○ POWER OFF, POWER ON, X-RAY ON/OFF 確認

◎ 表示類 ○ (LED) POWER ON, X-RAY ON 確認

## 2 X-Yジョイスティック

◎ SW類 ○ START/STOP, X-Yジョイスティック XY軸 ↑ ↓ → ←, Z軸 ↑ ↓ 確認

◎ 表示類 ○ START時の点灯 確認

## 3 その他

CCDカメラ動作(ズーム、照明コントロール、焦点変更) 確認

パソコン、制御ソフト立上げ 確認

## 4 動作

1) 定性分析 Au, Ni, Ti, Cu, Pt 確認

2) 膜厚測定 標準試料(ベース金属、膜金属、既知薄い膜厚、既知厚い膜厚)必要な為、当社未確認膜厚試料測定  
薄膜FP法にて Au 6797 Å を得た。

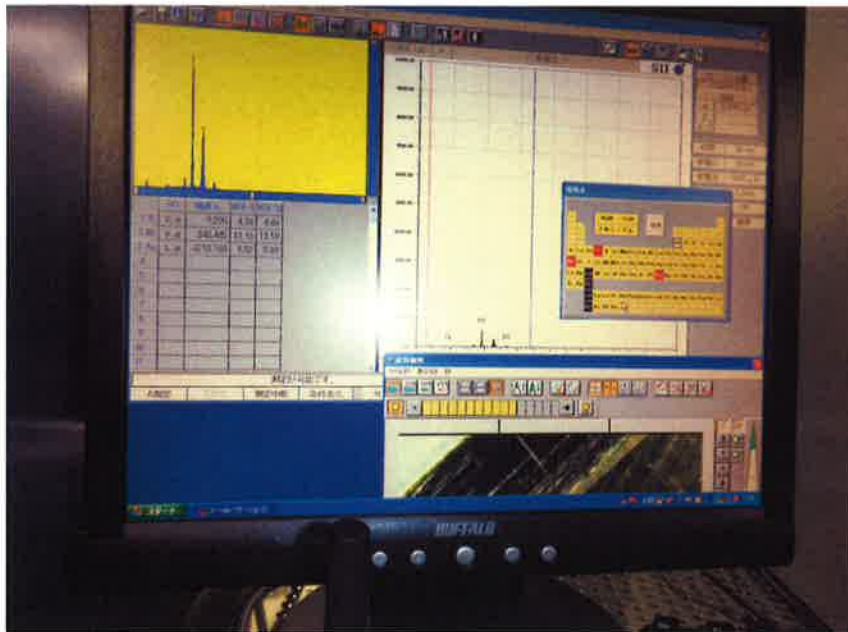
取扱説明書(有)

## 修理・改造履歴

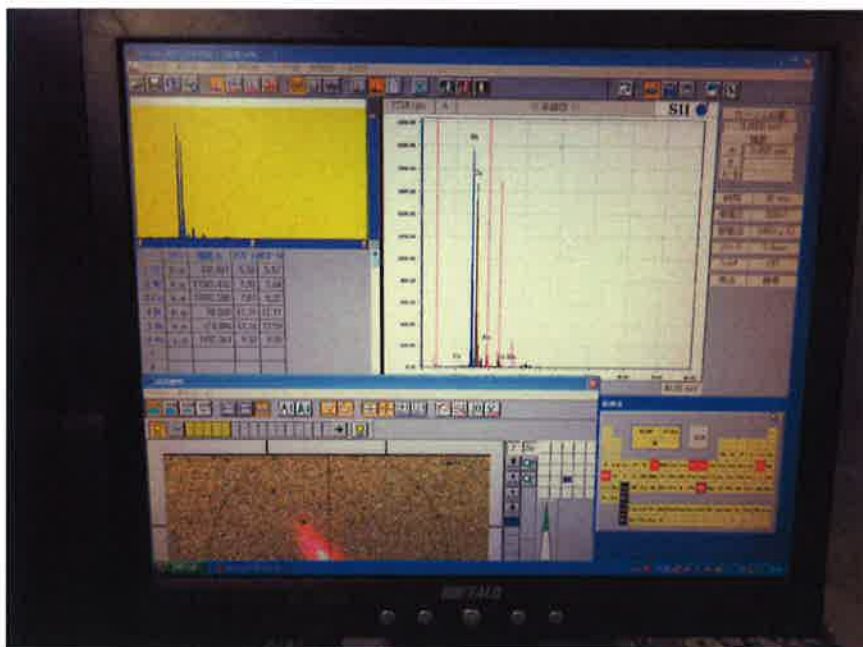
年月日	修理・改造記録	作業者
2016.4.27	光軸調整、強度校正、エネルギー校正、分解能校正 実施 (正常終了)	佐藤

File Maker入力 (備考欄コメント) [責任者]  
 動作(OK) 作業工数[ 32H] 動作上不具合な点は、無かったが、膜厚測定に関しては、既知標準  
 検査担当者[ 佐藤 ] 膜厚試料で再確認が必要と考えます。  
 ユーザー名[ ] 出荷日 年 月 日

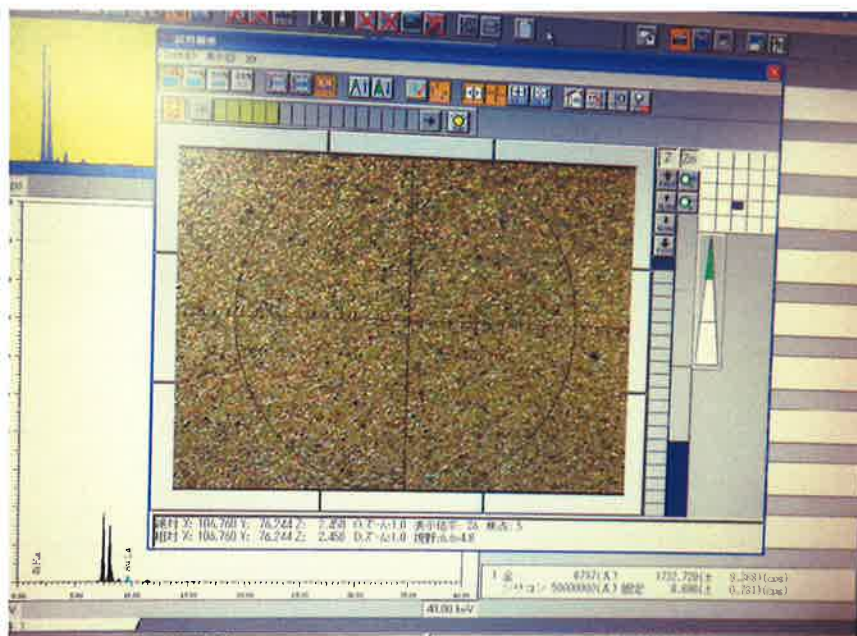




100%Au定性分析



Au,Cu,Ni定性分析



Au膜厚测定